



K S K Q かがやき

編集人
社会福祉法人
かがやき神戸を支援する会

<https://kagayaki-kobe.jp>

目次	P1「理事長の挨拶」
	P2「かがやき神戸2022年度事業方針」
	P3「『かがやき神戸に出会って』」
	P4「新グループホーム建設報告」
	P5「法人・支援する会のうごき」
	P6「機関誌がリニューアルしました！」
	P7「支援する会たより」
	P8「会費納入を頂いた方・お願い・編集後記」

平和でないと障がい者の権利は守れない

社会福祉法人かがやき神戸 理事長 松原 建二



寒さが少し和らいで、北区の梅の花が咲くころにこの記事を書いています。皆様の手元に届くのは、新年度を迎えた5月ごろでしょうか。

必死で耐えた一か月

2月にかがやき神戸で新型コロナウイルスのクラスターが発生しました。一人陽性者が出たと思えば一気に感染が広がり、職員・利用者合わせて20名以上の陽性者が出ました。グループホームの利用者で陽性者となった人は入院することもできず、法人内の施設で支援にあたりました。防護服など感染対策を万全にして支援に入った職員も何人かは陽性者となり、感染力の強さを知る事となりました。17日間、日中の事業所を閉所することとなり、利用者・家族に大きな負担がかかりました。特に障がい者が重いほど負担は大きくなり感染によるリスクと利用者・家族だけにのしかかる負担の大きさとどちらが大変なことなのか判断が難しく感じています。

幸いにも3月には一定収束し通常開所に戻ることができましたが、法人の機能が1カ月間停止してしまうような状況でした。職員も精一杯支援に入り、利用者・家族も必死で耐えました。そうやって乗り越えたものの法人の経営は悪化します。今の社会保障の在り方や制度矛盾に憤りを感じます。

ウクライナの人たちを思って

世界中が新型コロナウイルスだけでも大変な状況の中、2月24日にウクライナへの

軍事侵攻が始まりました。多くの尊い命と暮らしが奪われています。毎日ニュースで報道される、ウクライナの状況を見て心が痛みます。民間人への無差別攻撃がされ、建物がガレキと化した映像を見ると、その中に逃げ遅れた人がいるのではないかと考えてしまいます。民間人の避難が始まっていますが、避難の状況を映像で見る限り、障がい者が避難できるような状況ではありません。

7年前になりますが、きょうされん第38回全国大会in兵庫の準備をしている中で、第2次世界大戦の時、日本の障がい者がどれだけ虐げられ、苦勞してきたかを学ぶ機会がありました。「平和でないと障がい者の権利は守れない」当時何度も聞いた言葉です。今改めてこの言葉の重さを実感しています。

戦争を許さない

ウクライナへの軍事侵攻のきっかけとして、憲法を改正し戦争ができる国にしようという動きが出てきています。先に述べたように、平和でないと障害者の権利は守れません。戦争状態になった時、真っ先に社会的弱者へしわ寄せが行きます。戦争は最大の人権侵害であることをしっかりととらえ、1mmたりとも戦争へ近づくことを許さないという意識で法人としても活動をしていきたいと思います。また皆さんにも呼びかけることがあるかもしれませんが、その時はご協力よろしくお願いいたします。

2022年度かがやき神戸事業方針

わたしたちのめざすもの

第3期将来構想 ～みんなの笑顔かがやきプランパート2～

法人本部 2022年度事業計画

実践

- ケラピーPJ
- 相談支援PJ
- 虐待防止委員会

運動

- きょうされん国会請願署名 目標7000筆
- 賛助会員
- 優生保護法裁判への関わり
- 基本合意文書の実現をめざす会の参加
- 被災地支援

重点計画

- 夢ホーム建設
 - ・ 未来GHPJの立ち上げ
 - ・ 未来GH会議の開催
 - ・ 夢ホーム建設実現する会の開催
- ・ 啓発活動
- ・ 資金づくり目標3300万円
- ・ 建設候補地確保

地域

- 西区
 - ・ 地域イベントへの参加
 - ・ 地域啓発
 - ・ 地域自治会とのかかわり
- 北区
 - ・ こだまの再構築
 - ・ 地域ふれあいまつり
 - ・ 地域イベントへの参加
 - ・ ふれあい街づくり協議会との連携
 - ・ 災害時要援護者支援活動への参加
 - ・ きた☆だより発行

経営

●組織	●人財・労務	●財政
・ 理事会・評議員会の開催	・ 就業規則の見直しと処遇改善費	・ 財務管理
・ 運営協議会の開催	・ 勤怠管理システム導入	・ コンプライアンスチェック
・ 支援する会・家族会との懇談会	・ 健康管理	・ キャッシュレス化
・ 新型コロナウイルス対策	・ 人事委員会	
・ 垣根を超える取り組み	・ 人材確保・外国人・新卒・とまり木100%開所	
・ PC管理委員会	・ 人財共育委員会	
・ 機関紙委員会	・ ハラスメント委員会	
・ 広報委員会		
・ 苦情解決委員会		
・ 防災減災委員会		

かがやき神戸に出会って ～利用者の思い～

～私の想いと願い～

ミニなでしこ 橘 亨 たちばな とおる

私が「かがやき神戸」と出会い、B型事業所ミニなでしこに通所するようになって、早いもので12年が経ちました。利用者として「かがやき神戸」と共に歩んだ12年間で振り返ってみると、実に様々な出来事がありました。自分にとって特に大きかったと感じていることは、「グループホーム森友寮」に入居したこと、森友寮での生活を終えて一人暮らしを始めたこと、そして西区王塚台に「コミュニティカフェRico」がオープンして施設の仲間達や職員さんと一緒に喫茶作業に携わるようになったことです。

無理のないペースで楽しく

現在、私は施設から徒歩7分のワンルームマンションで一人暮らしをしながら、週4日のペースで喫茶の準備作業と接客作業を続けています。体調はいつも万全というわけではなく、20代後半で発症した精神疾患も完治していない状態です。時には気分が憂うつになることや睡眠不足になる夜があります。小さな困難はそれなりにありますが、生活のリズムを維持していくうえでRicoでの作業はとても大切なことなので、無理のないペースでこれからも長く楽しく続けていくことを目標に頑張りたいと思っています。

また施設内作業の他に私が今取り組んでいることで楽しいと感じていることに、月一度の音楽活動のプログラムがあります。音楽や歌うことに興味があるメンバーさん達と一緒に、歌ってみたい曲を出し合っ

た楽器を演奏しながら合唱の練習をします。そのひとときは良い気分転換になって、参加者全員の気持ちも自然と明るくなって、笑顔の数が増えてきていると感じています。

回り道をしながら自分らしく

「かがやき神戸」を利用している障がい当事者の思いや願いは同じであったり、ある部分では異なっていたり、人それぞれであると思います。私のいちばんの大きな理由は、障がいがあっても誰かに決められた生活ではなく、自分の生活を自分で組み立てて実践しているという喜びを少しでも感じたいからだという気がします。「かがやき神戸」が、利用者一人ひとりが失敗や回り道をしながらも、自分らしさを発揮しながら互いに支え合い楽しく成長していける場として、未来に向けて大きく発展していくことを期待したいです。

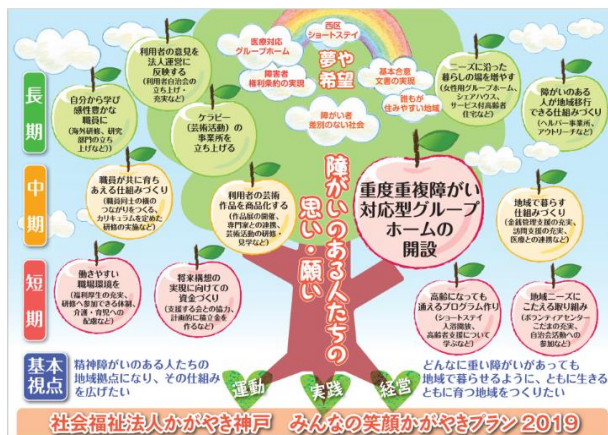


新グループホーム建設報告

～第3期将来構想委員会報告～

3年前の2019年、長田区にあるふたば学舎で、仲間や家族、そして関係者の想いや願いが込められた大きなリンゴの木が発表されました。そう、これがかがやき神戸の第3期将来構想。かがやき神戸の広い大地にそびえ立つ大きなリンゴの木。ひとときわ赤く輝くリンゴは今すぐにでもかなえたい願い。中期には、熟れるまでにはもう少ししかかりそうな黄色いリンゴ。後期には、まだまだ渋みが多そうな青いリンゴ。様々な想いや願いがリンゴとなって、大きなリンゴの木に実を实らせています。その中のひとときわ大きく赤く熟れたリンゴが、『重度重複障がい者対応型グループホームの開設』という願いです。それでは、このグループホーム建設について少し見ていきましょう。

今から2年と数か月前、このグループホーム建設に向けてプロジェクトチームが立ち上がりました。その会議名は『ミライGH会議』と言い、これまでに24回、会議を重ねてきました。この間、3つのチームに分かれて重度重複障がい者対応型グループホーム建設に向けてアプローチしてきました。一つ目が、多くの事業所の実践から学ぶ、『学びのチーム』。二つ目が、西区と北区のグループホームの実践から見つめなおす『事業運営から考えるチーム』。三つ目が、少し違う角度で『資金集めのチーム』。大きくはこの三つのチームでグループホーム建設をとらえ夢を広げてきました。



また、この間土地探しも並行して行ってきました。検討した土地は、10数か所。そこから調査に入ったのは4か所。残念ながらどの土地も最終決定には届かず、今なお建設を夢見ながら土地探しを継続しているところです。

しかし、こういった具体的な検討をすればするほど、様々な課題が立ちはだかってきます。そこには『資金の壁』『人財の壁』『制度の壁』、そして、『命を預かるという不安に押しつぶされそうになる大きな壁』。まだまだ、私たちだけでは乗り越えることのできない壁ばかりです。今後、この赤く熟したリンゴに込められて大きな願いを実現していくためにも、まずはかがやき神戸全職員間で確認し、次に、仲間・家族、そして多くの関係者と願いや想いを共有し、この立ちはだかる壁に向かっていきたいと考えています。

安全で安心して暮らせるあたたかいホームを夢見ながら・・・。

法人・支援する会のうごき 2021年12月～2022年3月**12月4日 経営指針作成**

管理職がとまり木に集まり、次年度の経営指針の土台となるワークショップを行いました。

1月13日 支援する会 運営委員会

かがやきセミナーや機関誌のリニューアルについて話合いました。

1月18日 西区コロナ感染者発生

森友寮にてコロナが発生しました。発生ホームの利用者が全員濃厚接触者になりました。ショートステイを閉所しました。また、ミニなでしこも閉所しました。

1月19日 神戸市 監査

法人の運営について神戸市から監査を受けました。

1月29日 きょうされん 総合研修

オンラインにてきょうされん総合研修が行われました。管理職・主任が参加しました。同志社大学の岡野八代教授の講演がありました。

2月3日 理事会

第1号議案 2022年度 管理職人事
第2号議案 将来構想の進捗について

2月7日 2月10日**かがやきセミナー**

佛教大学の田中智子教授をお招きし、オンライン講演会を行いました。障がい者の家族が置かれている現状を客観的にデータに基づいて講演頂きました。

2月11日～2月25日**北区コロナ感染者発生**

北区施設でコロナの集団感染が発生し、つくしんぼ・だんだん・ぐりいとの施設を2週間閉所しました。感染した利用者はとまり木の施設で対応しましたが、支援に入った職員も次々に感染しました。改めて、感染力の強さを感じました。

また、長期間施設を閉所し、多方面にご迷惑をおかけいたしました。

2月19日**かがやき神戸西区発表会延期**

新型コロナウイルスのため、かがやき神戸西区発表会は延期となりました。楽しみにして頂いた方には申し訳ございません。

3月11日 理事会 延期

上記、新型コロナウイルスの集団感染の影響により理事会が延期されました。

3月12日 北区コロナ感染者発生

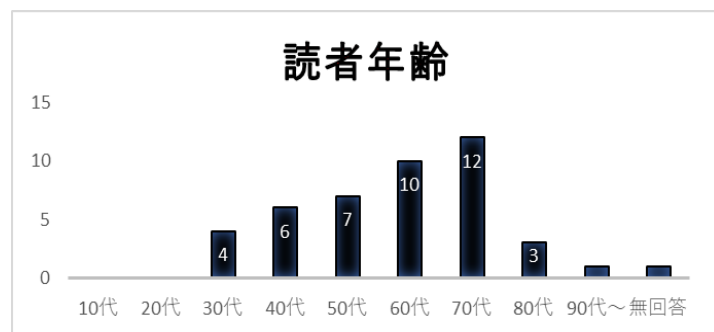
のびのびホームの利用者がコロナに感染し、ショートステイを閉所しました。

3月30日 評議員会 延期

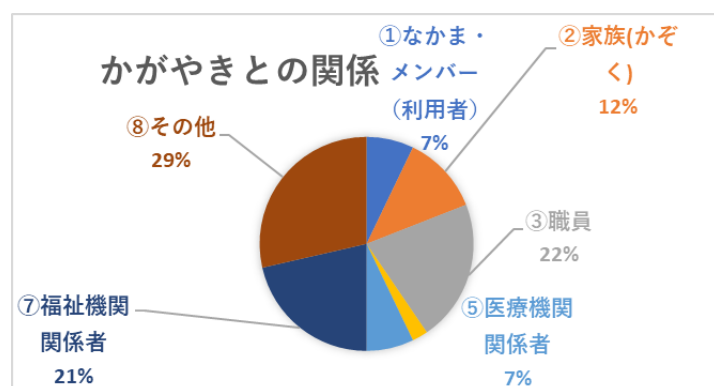
上記、新型コロナウイルスの集団感染の影響により評議員会が延期されました。

機関誌をリニューアルしました！！

機関誌の刷新に向けて前回アンケートをとらせていただきました。
ご協力いただき誠にありがとうございました。45名の方から回答を頂きました。



読者の方は60代、70代の方が多かったです。長期間多くの方に法人を支えて頂いているということが分かりました。
一方で10代、20代の方は0名でしたので、若年層への広がり課題となります。



その他が29%と一番多くなっていますが、地域の方や学校関係の方でした。福祉関係者と合わせると50%となり、職員やななかま、家族だけでなく、多種多様な方に読んでいただいている事がわかりました。

レイアウトについて：見やすい86% 文字量について：ちょうど良い87%
※レイアウトや文字量はほとんどの方が現状に満足して頂いてました。

印象に残っている記事BEST 3

第1位：理事長挨拶 第2位：かがやき神戸に出会って 第3位：今年の抱負

今後 読みたい記事 BEST 3

第1位：利用者・仲間の思い
第2位：家族の思い
第3位：法人や支援する会の活動報告・職員の思い

終わりに

ロゴマークやホームページを作成してくださったデザイナーさんにご協力いただき、今回から機関誌をリニューアルしました。ホームページとの統一デザインになっています。また、ホームページにタイムリーなニュースを載せ、機関誌には関係者の「想い」などの内面を載せる様にすみ分けたいと思います。ホームページも是非ごらんください。最後に、最近、紙質がツヤのある物に変わり費用面で大丈夫か？と複数の方にご心配をいただきました。印刷業者変更にともない、最安の紙質を選んだところ、ツヤのある物に変わりました。費用面では安くなっておりますのでご了承ください。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

支援する会たより

かがやき神戸を支援する会 2021年度かがやきセミナー 報告 障害の重い方の安心安全な暮らしの場とは～グループホームの今、そしてこれから～

2022年2月7日(月)と10日(木)に、かがやきセミナーを開催しました。初めてのオンライン形式のセミナーで、約80名が参加されました。講師の田中智子氏(佛教大学教授)より、障がい者家族の高齢期の生活課題や求められる暮らしの場について、具体的な事例や調査結果をもとにお話いただきました。

親には「親」の役割を超えて、介護者・準専門家・コーディネーター・代弁者といったケアラーとしての役割負担が過剰にかけられています。また、家族の家計に包摂されて障がい当事者の貧困が気づかれにくいという面もあります。まず、これらの現状を明確にする必要があり、「ケアの責任は社会にある」と強調されました。

これまでに家族の介護負担は広く認識

されてきたことですが、「家族と職員の意識のズレ」についても指摘があり、私自身も再確認する機会となりました。そして、親の要介護期とそれに続く看取りを乗り越えるためには、障がいのある方がこれまでの生活圏や関係性を維持できるよう「多様な選択肢が保障される暮らしの場づくり」と、親が自身の人生を語れるような「つながり」が大切だと締めくくられました。

障がい者家族が安心してケアのバトンを引き継ぐことができる社会づくりは、誰にとっても安心できる、すべての人を当事者とした課題です。かがやき神戸の第3期将来構想の重点目標である「重度重複障がい者対応型グループホーム建設」に向けて、多くの学びを得たセミナーとなりました。

(佐々木)

【参加者の声】

障害のある方の安心安全な暮らしの場とは、部屋でなく家であることが大切だと分かった。

ノーマライゼーションは縦でなく横でみる(昔と比べるのではなく、同年代と比べてどうか)という言葉が印象に残った。

家族すら漠然としか気づいていない問題まで見える化してくださり、直面している問題をわかりやすく提示してくださった。

障害者家族の高齢期の生活課題は、当事者(親)が声のあげにくい問題であることを学んだ。



支援する会事務局に、今回のセミナー記録と田中先生の著書「障害者家族の老いる権利」がございます。お問合せ下さい。
【お問い合わせ先：078-582-5544】



支援する会に会費を 納入いただいた方

(2021年10月1日～2022年3月20日までに
更新／入会された方 順不同・敬称略)

市野弥 市野紀代 市野元彦 上田直美
上田学 今井紘二 今井寛 今井稔 笹直美
森ともみ 正木明男 岡本米子 福田崇世
岡本遥 安森司 崎村恵 藤田陽子 泰田励
山本吉廣 雲井節子 白井博之 田嶋啓志
踏分英志 野木眞由美 小野景史 田辺純子
高坂恵美子 石貞三太郎 平井孝洋 谷雅博
児玉祥伍 中井宏次 銀奈津世 松田靖彦
塩崎昌志 道満俊徳 織田仁子 栗田尚子
丸山尚美 正津房子 大庭絵里 澤村誠志
内海加代子 中村志津子 細井八千代
植戸貴子 黒岩ウノ 平野和美 馬袋冴子
白瀧泰子 田中耕平 田中一子 今井さゆり

ご協力ありがとうございます

(すでに更新された方で、お名前の載っていない方は次回掲載させていただきます)

2022年5月号 (No.94)

編集人：(社福)かがやき神戸を支援する会

定価：1部50円

事務局：神戸市北区山田町下谷上字西丸山

20-30 (かがやき神戸北事務所)

TEL：078-582-5544

FAX：078-582-5526

発行人：関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2

東興ビル4F



☆会費納入のお願い☆

●社会福祉法人かがやき神戸を支援する会
の2022年度会費(2022年4月～2023年3月)
納入をお願いいたします。

★ かがやき神戸を支援する会 2022年 年度会費 1000円★

会費振込先(郵便振替)口座記号口座番号：

00930-1-67354

加入者名：社会福祉法人かがやき神戸を
支援する会

かがやき神戸

検索



かがやき神戸のホームページも
ご覧ください！！

【編集後記】

2月に北京で行われていた冬季五輪で
様々なウィンタースポーツをテレビ観戦
しました。中でも注目していたのはカー
リングです。勝つためには緻密な戦術と
繊細な技術の組み合わせが求められます。
さらに相手チームの出方を見ながら巧み
な駆け引きが繰り広げられているので、
一投一投にハラハラドキドキしていまし
た。世の中にはマイナースポーツのよう
にあまり知られていないものが「こんな
に楽しめるなんて」と思えることがたく
さんあります。いくつになってもドキド
キしたり新たな発見が出来たら嬉しいで
すね。(前西)